



新着案内

『天使も踏むを畏れるところ』 上・下

松家 仁之 著 (新潮社)

敗戦から15年、皇居「新宮殿」造営という世紀の難事業に挑む建築家・村井俊輔。彼を支える者、反目する者、立ちはだかる壁…。かつてない密度とスケールの大長篇。



『亡霊の鳥』

阿部 智里 著 (文藝春秋)

大人気和風ファンタジー「八咫鳥」シリーズ最新作。博陸侯雪斎が独裁を敷く<山内>で、博陸侯の治世を揺るがす「亡霊」の影。終幕に向けて、時間が進み始める一。



『百一歳。終着駅のその先へ』

佐藤 愛子 著 (中央公論新社)

百歳を迎えての日常と、今の思いとは？インタビューと、単行本未収録のエッセイを総ざらい。変わらない歯切れよさで、世相と日常を語り尽くす。



『ねんねのおばけ』

角野 栄子 作 よしむら めぐ 絵 (小学館)

サーちゃんの家に泊まりにいったアコちゃん。はじめてのお泊まり、サーちゃんが先に寝てしまうと、天井に「ねんねのおばけちゃん」がいそうで怖くなってしまい…。



『ホタルの光をつなぐもの』

福岡 伸一 文 五十嵐 大介 絵 (福音館書店)

ホタルの光は、1億年以上にわたり命をつないできた途方もなく長い時間の流れのなかの一瞬の輝きです。なぜ、これほど長い時間、種をつないでくることができたのか。



移動図書館

阿蘇・一の宮地区

(5月2日 金・6月6日 金)

西役犬原公民館	10:00～10:10
▼	
竹原公民館	10:15～10:30
▼	
坊中公民館前	10:40～10:55
▼	
赤水駅前	11:15～11:25
▼	
宮本酒店前 (車帰)	11:35～11:45
▼	
坂梨公民館	15:15～15:25

波野地区

(5月7日 金・6月11日 金)

波野保健福祉センター	11:20～11:30
------------	-------------

※天候や道路状況により巡回を中止することもあります。

おはなし会

おはなしボランティア『おはなしアップル』のおはなし会を開催します。参加は無料です。ぜひ、ご参加ください。

とき 5月17日(土) 午前10時30分

ところ 阿蘇図書館

— 新築・注文住宅・建て替え・リフォーム・リノベーション・土地探しのお手伝い —



SHIGA HOME

ASO HAPPY LIFE

阿蘇で一番お客様を幸せにする工務店を目指して！
高性能・省エネな家づくりから、住む人とペットに優しい住まいまで
阿蘇の住まいに関する事はなんでもご相談下さい！



SHIGAHOME_ASO

インスタ更新中！

(有)南部志賀工務店(シガホーム) 〒869-2222 熊本県阿蘇市西町86-1 TEL:0120-931-403

広告

「みんなで買い物に行った」

一の宮小学校 6年

かわかみ はるま
川上 遥真

動画を自分の部屋で見っていた。

すると、お母さんが大きな声で、

「ねえ、どっか行かん？」

とみんなに聞いた。お姉ちゃんの茉

璃乃が、

「行くとしたら、どこ行く。」

と聞くと、お母さんは、

「うーん、菊陽のあの店とかは。」

と言ったので、お父さんに連絡し

て、お父さんが帰ってきたら、みん

なで行くことになった。ただ、お兄

ちゃん留守番をしておくのこ

とだった。

り、車の一番後ろの席には、ぼくと
茉璃乃、真ん中の列には弟の煌真、
妹の和乃花、末っ子の綺巴が乗っ
た。ぼくは酔い止めの薬を飲んでい
たので、少し眠かった。
「もうすぐで着くよ。」
と助手席のお母さんが言った。み
んなうれいいのか、少しわくわくし
ている。ただぼくは、
「やばい、すごく眠い。」
と言った。ぼーっとしているうち
に、お店に着いていた。煌真は眠っ
ていた。和乃花が眠っていた煌真を
起こした。みんな車から降りて、階
段を下りた。階段を下りたところ
で、さっそくお母さんは、洗剤を見
つけていた。
「これ、良くない？」
とお母さんはお父さんに聞くと、
お父さんは、
「買いな。」
といい、お母さんはすぐに買い物か
ごに入れていた。そしていろいろ見
ていると、前にインターネットで話
題になっていた皮をむいて食べる
グミを見つけた。
「これ、買っていい。」
とぼくと茉璃乃が聞いた。お父さ
んは、

「買いな。」
とまた言ったので、二人で喜んで買
い物がごの中にグミを入れた。お
母さんが、
「兄ちゃんにもお土産があったほ
うがいいかな。」
と言ったので、みんなでお兄ちゃん
の洋服を選びに行った。お母さん
がぼくに、
「これは、どうかな。」
と聞いてきた。だけど、何となくお
兄ちゃんの好みじゃなさそうだっ
たので、
「んー、それはどうかな。」
と答えた。結局、みんなで選んで、
Tシャツを買った。
レジに並んでいるときに、お父さ
んが、
「リサイクルショップに行こうよ。」
と誘ってきたので、ぼくとお父さん
と煌真の三人で歩いて行くことにな
った。
着いてからゲームのコーナーを
一緒に見ていると、自分が前から欲
しかったゲームのソフトを見つけ
た。値段を見てみると、四千八百円
と高かった。じつとそのカセットを
見ていると、お父さんが、
「それでいいとね。」

と聞いてきた。ぼくは思わず、
「えっ、いいの。」
と聞き返した。いつもはだめって言
われるけど、今日は、
「それでいいならいいよ。かごに入
れな。」
と言ってくれた。本当にうれしくて
たまらなかった。
今度は、三人でカプセルトイの
コーナーを見て回った。煌真が、
「これ、したい。」
と言ったので、お父さんからお金を
もらって、三回カプセルトイをする
ことになった。だけど、二つ同じも
のが重なってしまつて、

先生からのコメント

遥真さんは、学校でも家のこ
とや家族のことを担任にたくさ
ん話をしてくれます。このつづ
りを書くにあたり、一番印象に
残っていることとして、家族で
買い物に出かけたことを書き始
めました。遥真さんは八人家族
で、弟や妹もたくさんいるので、
買い物に行くのも大変だそうで
す。ただ、その買い物の中でも、
家族のことを思いやり、大事に
している姿が見られました。ま
た、いつもは自分のお小遣いを

「ああ。」
と残念そうだった。だけど、カプセ
ルトイができたことに煌真はうれ
しそうだった。
ぼくもアニメのキーホルダーを
見つけたので、一回だけカプセルト
イを回させてもらった。
そして、また三人で歩いて最初の
店へ向かった。お母さんたちは、服
屋さんで洋服を見ていたようだ。
そしてみんなで車に乗った。ぼく
は、買ってもらったゲームをさっそ
く手にとつて、パッケージの裏を見
ながら、ゲームをすることを楽し
みにしながら帰った。

ためてほしいものを買っている
そうですが、今回はゲームを買
ってもらっています。買って
くれた理由をお父さんに尋ねる
と、「毎日続けてお風呂掃除を
遥真が頑張っていたから」だそ
うです。家族のことを大事にし
ている遥真さんだからこそ、そ
の姿に助けってもらっている家族
もいる。家族の中でもお互いを
大事にしていることを感じた一
コマでした。